| $\sim$   | 小上未回。  | 等専門学校  | ☆ 開講年度  | 令和05年度 (2  | 2023年度)   | 授業科目   | コンパイラ   |   |  |
|--|--|--|---|--|---|--|---|---|--|
| 科目基础   | <b>楚情報</b>                                   |  | ,   |  | ,   |  |   |   |  |
| 科目番号   |  | 5S12   |   |  | 科目区分  | 専門 / 必修  |   |   |  |
| 授業形態   |  | 講義   |   |  | 単位の種別と単位数   | 学修単位:  | 2   |   |  |
| 開設学科   |  | 制御情報工学科  |   |  | 対象学年  | 5  |   |   |  |
| 開設期  |  | 後期   |   |  |   |  |   |   |  |
| 教科書/教  |  | 山下義行   | 「コンパイラ入   |  |   |  |   |   |  |
| 日当教員   |  | 中野 明   |   |  |   |  |   |   |  |
| 到達目  | _  | - · · <del></del>  |   |  |   |  |   |   |  |
| ・オート   | マトンの基準                                       | ついて説明で<br>本的な概念に<br>的な役割と仕   | ごさる。<br>こついて説明できる<br>上組みについて説明  | 。<br>できる。  |   |  |   |   |  |
| レーブ  | リック  |  |   |  |   |  |   |   |  |
| -  |  |  | 理想的な到達し   | 標準的な到達レベル  |   |  | レの目安  |   |  |
| 評価項目1  |  |  |   |  | 形式言語の概念についてほぼ説明<br>できる。   |  | 形式言語の概ない。   |   |  |
| 評価項目2  |  |  | いて説明できる   | オートマトンの基本的な概念につ<br>いて説明できる。<br>オートマトンの基<br>いてほぼ説明でき  |   | 0  | オートマトンいて説明でき  | きない。  |  |
| 評価項目3  |  |  | コンパイラの基本的な役割と仕組<br>みについて説明できる。 コンパイラの基  |  | コンパイラの基本的<br> みについてほぼ説明   | 本的な役割と仕組 コン<br>説明できる。 みに   |   | D基本的な<br>说明できな  | 役割と仕組い。  |
|  | 到達目標項  | 頁目との関  | 係   |  |   |  |   |   |  |
| 1<br>ABEE C  | -1   |  |   |  |   |  |   |   |  |
| ABEE C<br>教育方法                                       |  |  |   |  |   |  |   |   |  |
| 既要   | <u> </u>                                     | プログラ技術の一   | ムを機械語に変換<br>つである。コンパ  | する技術であるコングイラの内部で行われ  | パイラは、コンピューている形式言語の処理  | タサイエンス(<br>過程、オート <sup>3</sup>   | こおいて最も游<br>マトンによるり  | た練され、<br>状態遷移過  | 成熟された<br>程の図式化   |
| 三世 小半  | <br>め方・方法                                    |  |   | <u>埋分野の知見を広げ</u><br>どを用いた講義を行  | ることを授業の目的と  | 9る。  |   |   |  |
| 主意点  |  | 評価基準<br> 再試:再  | 2:評価割合に従い<br>3:60点以上を合格<br>i試を行う。<br>7:本科目は学修単  | よする。   | 時間以外での学修が必  | 要であり <i>、こ</i> ね   | 1を課題として   | 「課す。  |  |
|  |  |  | ・ 蓮菜し ( 謀され   | た課題に取り組むて  | 、対応する教科書の匿  | 別で読んであり  |   |   |  |
| ] アクラ  | ティブラーニ                                       | 多上の区分  |   | た課題に取り組むこ  | ☑ 遠隔授業対応  | 別で凱んでの   | 1   | のある教  | 員による授  |
| ] アクラ  | ティブラーニ                                       | 多 <u>上の区分</u><br>ニング   | □ ICT 利用  | た課題に取り組むこ  | ☑ 遠隔授業対応  |  | □ 実務経験  | のある教  | 員による授  |
| ] アクラ  | ティブラーニ                                       | 多上の区分  | <b>)</b>  | た課題に取り組むこ  | ☑ 遠隔授業対応 週で   | ごとの到達目標  | □ 実務経験  |   |  |
| ] アクラ  | ティブラーニ                                       | 多 <u>上の区分</u><br>ニング   | □ ICT 利用<br>授業内容  | た課題に取り組むこ  | ☑ 遠隔授業対応 週辺 プロ  |  | □ 実務経験  |   |  |
| 」 <i>アク</i> :  | ティブラーニ                                       | 多上の区分<br>ニング<br>- 週<br>  | □ ICT 利用<br>授業内容  | 語の歴史と処理系   | と。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 週。 プロ  | ごとの到達目標10グラミング言  | □ 実務経験 □ 実務経験 □ まの歴史や処理   |   |  |
| 」 <i>アク</i> :  | ティブラーニ                                       | <br>  多上の区分<br>  こング<br>  週<br>  1週  | □ ICT 利用<br>授業内容<br>プログラミング言  | 語の歴史と処理系   | と。  ☑ 遠隔授業対応  週  プ 理  構  構  構   | ごとの到達目標<br>1グラミング言<br>Rする。   | □ 実務経験<br>語の歴史や処理<br>する。  | 理系統の遺   | 違いについて   |
| 」 <i>アク</i> :  | ラィブラーニ                                       | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週  | □ ICT 利用    授業内容   プログラミング言   コンパイラの全体   字句解析(トーク   字句解析(オート  | 語の歴史と処理系<br>構成<br>'ン、正規表現)<br>マトン)   | と。<br>☑ 遠隔授業対応  | ごとの到達目標<br>1グラミング言<br>好する。<br>成について理解<br>1解析の基本的<br>- トマトンを使   | □ 実務経験<br>語の歴史や処理<br>する。<br>な流れについて<br>った処理の流れ  | 理系統の違<br>て理解する<br>れについて   | 違いについる<br>5。<br>理解する。  |
| 」 <i>アク</i> :  | ティブラーニ                                       | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週  | □ ICT 利用    授業内容   プログラミング言   コンパイラの全体   字句解析(トーク   字句解析(オート   字句解析(オート   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>'ン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)   | と。  | ごとの到達目標<br>ログラミング言<br>解する。<br>切について理解<br>可解析の基本的<br>- トマトンを使<br>- トマトンを使   | □ 実務経験 語の歴史や処理 する。 な流れについて った処理の流れった処理の流れ   | 理系統の違<br>て理解する<br>れについて   | 違いについる<br>5。<br>理解する。  |
| ] アクラ  | ラィブラーニ                                       | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週  | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(トーク 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析器生成系  | 語の歴史と処理系<br>構成<br>/ン、正規表現)<br>·マトン)<br>·マトン)   | と。  | ごとの到達目標<br>1グラミング言<br>好する。<br>成について理解<br>1解析の基本的<br>- トマトンを使   | □ 実務経験 語の歴史や処理 する。 な流れについて った処理の流れった処理の流れ   | 理系統の違<br>て理解する<br>れについて   | 違いについて<br>5。<br>理解する。  |
| ] アクラ  | ラィブラーニ                                       | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週  | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(トーク 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析器生成系 字句解析器生成系   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>ン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>マトン)<br>elex (1)  | と。  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □   | ごとの到達目標<br>ログラミング言<br>解する。<br>成について理解<br>可解析の基本的<br>- トマトンを使<br>- トマトンを使<br>の基本的な役害  | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについてった処理の流れった処理の流れを理解する。   | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて  | 違いについて<br>る。<br>「理解する。<br>「理解する。   |
|  | ラィブラーニ                                       | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週  | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(トーク 字句解析(オート 字句解析器生成系 字句解析器生成系 プログラミング言  lexの試験   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>ソン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>Elex (1)<br>Elex (2)   | <ul> <li>と。</li> <li>図 遠隔授業対応</li> <li>週。</li> <li>プ[理解 構成 字位 オース・</li> <li>オース・</li> <li>lex</li> <li>lex</li> <li>i成・字句解析・ プ[lex</li> </ul>   | ごとの到達目標コグラミング言解する。<br>成について理解可解析の基本的コートマトンを使いるといるでは、<br>の基本的な役割の基本的な役割の基本的な役割である。  | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについてった処理の流れった処理の流視 った処理の流えまで、 は理解する。 は、コンパイ・ 解くことがで  | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>うの構成・<br>きる。  | 違いについて<br>5。<br>工理解する。<br>工理解する。<br>・字句解析・   |
| 受業計  | ラィブラーニ                                       | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週  | □ ICT 利用  授業内容 プログラミング言 コンパイラの全体 字句解析(トーク 字句解析(オート 字句解析器生成系 字句解析器生成系 プログラミング言 lexの試験 復習(プログラミ解析・lex)、構3   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>ソン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>elex (1)<br>elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>ング言語・コンパイ   | と。  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □   | ごとの到達目標コグラミング言解する。<br>はについて理解可解析の基本的コートマトンを使いる。<br>の基本的な役割の基本的な役割のでは、<br>の基本的な役割である。   | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについてった処理の流れった処理の流れを理解する。  を理解する。  を理解する。 語解くことがで語・コンパイラ。文脈自由文  | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>ラの構成・<br>きる。<br>ラの構成・<br>法につい   | 違いについて<br>3。<br>工理解する。<br>工理解する。<br>・字句解析・   |
| 受業計  | ラィブラーニ                                       | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週   | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析器生成系 字句解析器生成系 プログラミング言 しまの試験 復習(プログ、構文解析(構文本   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>ソン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>Elex (1)<br>Elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>ング言語・コンパイ<br>文解析 (文脈自由文法  | と。  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □   | ごとの到達目標コグラミング言解する。<br>成について理解可解析の基本的コートマトンを使の基本的な役割のではできます。<br>の基本的な役割のではできます。<br>のがあるできます。<br>のではいていていていていていていていていていていていていていている。<br>は、このではいるできます。<br>のでは、このではいるできます。<br>のでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ  | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについった処理の流れった処理の流れった処理の流れった処理がある。  を理解する。  を理解する。  を理解する。 についてでいた。 に対している。 に対している。 に対している。 に対している。 に対してはいている。   | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>ラの構成・<br>きる。<br>ラの構成・<br>法につい。  | 望いについて<br>3。<br>「理解する。<br>「理解する。<br>字句解析・<br>で理解する   |
| 受業計  | 更<br>動<br>3rdQ                               | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週  | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析器生成系 字句解析器生成系 字句解析器とが 字句解析器とが ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>ン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>記ex (1)<br>記ex (2)<br>語・コンパイラの構<br>ング言語・コンパイ<br>で解析 (文脈自由文法<br>に)   | と。  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ ばった。  □ ばった。  □ ばった。  □ ばった。  □ はった。  □ | ごとの到達目標コグラミング言解する。<br>対について理解可解析の基本的で、<br>・トマトンを使の基本的な役害の基本的な役害のででは、<br>の基本のなででは、<br>の基本のなでであるでは、<br>のでは、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、   | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについてった処理の流れった処理の流れを理解する。 □を理解する。 □を理解する。 □を理解する。 □を理解する。 □を理解する。 ことがで語・文がで語・文ができる。 おける規則の近れる対ける規則の近れるができる。   | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>ラの構成・<br>きる。<br>ラの構成・<br>きる。<br>ラのについる<br>違いを把握                             | 違いについて<br>3。<br>理解する。<br>字句解析・<br>で理解する。   |
| 受業計  | ラィブラーニ                                       | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週   | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析器生成系 字句解析器生成系 字句解析器と成系 字句解析器と成系 「ピログラミング言 になの試験である。 「となっている。」 「はないる。」 「はないるいる。」 「はないるいる。」 「はないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる  | 語の歴史と処理系<br>構成<br>(アン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>Elex (1)<br>Elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>(文解析 (文脈自由文)<br>Elex (2)<br>で見則を含まない場  | と。  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ ばった。  □ はった。  □ はった。  □ はった。 □ はっ | ごとの到達目標コグラミング言解する。 でいて理解の解析の基本的ででである。 でいてでいている 基本的な 役害 こう できない できない できない できない できる こう きょう にっき はい にいる こう きょう こうき はい こう こう きょう こう きょう こうきょう こうきょう こうきょう いき はい いき にいる いき はい いき はい いき にいる いき はい いき はい いき はい いき にいる にいる いき にいる にいる いき にいる | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについった処理の流れった処理の流れった処理の流れった処理がする。 □を理解する。 □を理解する。 □を理解する。 □を理解する。 ことができる。 いて理解する。 おける文法変担   | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>たきる。<br>ラの構成・<br>きこの構成・<br>きこの構成・<br>きこの構成・<br>きこのはことに<br>はないを把握            | 違いについて<br>3。<br>理解する。<br>字句解析・<br>で理解する。<br>も<br>でではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではな、<br>ではな、<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではな、<br>ではな、<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>で |
| □ アクラ<br>受業計i  | 更<br>動<br>3rdQ                               | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週  | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析が器生成 プロが試プラミッグ言 (との) では、のでは、では、のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>(ン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>elex (1)<br>elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>ング言語・コンパイ<br>文解析 (文脈自由文法<br>に)<br>で定規則を含まない場<br>で決変換)   | <ul> <li>と。</li> <li>図 遠隔授業対応</li> <li>週。</li> <li>プ「理網構施」字を</li> <li>オ・オー lex</li> <li>lex</li> <li>ラの構成・字句 ブ[lex</li> <li>お合・空規則を含 下「理解を</li> <li>下「下」下で</li> </ul>   | ごとの到達目標<br>コグラミング<br>対する。<br>対について里解<br>可解析の基本的<br>・トマトンを役割<br>コグフいてシンは<br>の基本 シン間 が<br>コグフ解を選出に<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、   | □ 実務経験  語の歴史や処理する。 な流れについった処理の流れった処理の流れった処理がする。 □を理解する。 □を理解する。 □を理解する。 □を理解する。 □を理解する。 □をはいてごとができる。 いて理解する。 いては、カンドので | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>もについて<br>ききの構成・<br>きの構成・<br>きの構成・<br>きの構成・<br>を可能ない。<br>違いを把握<br>したでとのを理解する | 違いについる<br>3。<br>理解する。<br>字句解析<br>で理解する<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>でで  |
| 受業計  | 更<br>動<br>3rdQ                               | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週<br>14週   | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析器生成系 字句解析器生成系 字句解析器生成系 字句解析器性成系 「lexのでごいででででででででででででででででででででででででででででででででででで  | 語の歴史と処理系<br>構成<br>(アン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>Elex (1)<br>Elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>(文解析 (文脈自由文)<br>Elex (2)<br>で見則を含まない場  | 図 遠隔授業対応  図 遠隔授業対応  週 プロ 環構 構成 字 オーオー オー  | ごとの到達目標コグラミングラミングラミングラミングラミングラミンでである。 でいて基本的の基本的な グランでの基本的な グラック はこう アイン できる アイ・ は 大阪 大阪 できる アイ・   | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについった処理の流れった処理の流れった処理解する。  を理解する。  を理解する。  を理解する。  なってリンには、コンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カ   | 理系統の遠 て理解するれについて カについて カについて ききの構成・ きるの構のい。 違いを把握 換を理解する しのある場  | 違いについて<br>3。<br>理解する。<br>字句解析・<br>で理解する。<br>は<br>でではない。<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、  |
| 受業計  | 更<br>動<br>3rdQ                               | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週<br>14週<br>15週  | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析が器生成 プロが試プラミッグ言 (との) では、のでは、では、のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>(ン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>elex (1)<br>elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>ング言語・コンパイ<br>文解析 (文脈自由文法<br>に)<br>で定規則を含まない場<br>で決変換)   | 図 遠隔授業対応  図 遠隔授業対応  週 プロ 環構 構成 字 オーオー オー  | ごとの到達目標<br>コグラミング<br>対する。<br>対について里解<br>可解析の基本的<br>・トマトンを役割<br>コグフいてシンは<br>の基本 シン間 が<br>コグフ解を選出に<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、   | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについった処理の流れった処理の流れった処理解する。  を理解する。  を理解する。  を理解する。  なってリンには、コンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カ   | 理系統の遠 て理解するれについて カについて カについて ききの構成・ きるの構のい。 違いを把握 換を理解する しのある場  | 違いについて<br>3。<br>理解する。<br>字句解析・<br>で理解する。<br>は<br>でではない。<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、  |
| □ アクラ 受業計Ⅰ   | 更<br>and and and and and and and and and and | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週<br>14週<br>15週<br>16週   | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析新器生成系 プログ試プログ、関係が開かる はとのは、関係が関する は、関係が関する では、関係が関係が関 では、関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>(ン、正規表現)<br>(マトン)<br>(マトン)<br>(記ex (1)<br>(記ex (2)<br>(記ex (2)<br>(2)<br>(記ex (2)<br>(記ex (2)<br>(2)<br>(2)<br>(2)<br>(2)<br>(2)<br>(2)<br>(2)<br>(2)<br>(2)   | 図 遠隔授業対応  図 遠隔授業対応  週 プロ 環構 構成 字 オーオー オー  | ごとの到達目標コグラミングラミングラミングラミングラミングラミンでである。 でいて基本的の基本的な グランでの基本的な グラック はこう アイン できる アイ・ は 大阪 大阪 できる アイ・   | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについった処理の流れった処理の流れった処理解する。  を理解する。  を理解する。  を理解する。  なってリンには、コンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カンには、カ   | 理系統の遠 て理解するれについて カについて カについて ききの構成・ きるの構のい。 違いを把握 換を理解する しのある場  | 違いについる<br>3。<br>理解する。<br>字句解析<br>で理解する<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>ででは<br>でで  |
| □ <i>アク</i> ラ  | 更<br>and and and and and and and and and and | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週<br>14週<br>15週<br>16週<br>15週<br>16週   | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析(器生成系 字句解析器生成系 プロ試プの試プの試別では、解析の表質では、解析の表質では、解析の表質では、解析のでは、解析のでは、解析のでは、解析のでは、ないでは、ないでは、では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>(ン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>elex (1)<br>elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>(文解析 (文脈自由文法:)<br>(空規則を含まない場<br>(文法変換)<br>解析アルゴリズム)<br>(繰り返しのある場合   | と。  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ ば   | ごとの到達目標コグラミングラミングラミングラミングラミングラミンでである。 でいて基本的の基本的な グランでの基本的な グラック はこう アイン できる アイ・ は 大阪 大阪 できる アイ・   | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについてった処理の流れにでの流れを理解する。  を理解する。 を理解する。  を理解する。  を理解する。  なった処理の流れができます。文とができます。  なったができます。  なった処理の流れができます。  なったの理解する。  なったの理解する。  なったのになったができます。  なったのになったができます。  なったのになったができます。  なったのになったができます。  なったのになった。  なったのになった。 なったのになった。 なったのになった。 なったのになった。 なったのになった。 なったのになった。 なったのになった。 なったのになった。 なったのになった。 なったのになった。 なったのになったのになった。 なったのになった。 なったのになった。 なったのになったのになった。 なったのになったのになった。 なったのになったのになった。 なったのになったのになった。 なったのになったのになった。 なったのになったのになった。 なったのになったのになったのになった。 なったのになったのになったのになった。 なったのになったのになった。 なったのになったのになったのになった。 なったのになったのになったのになったのになったのになったのになった。 なったのになったのになったのになったのになったのになったのになったのになったのに  | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>ある構のい。<br>違いを理解する<br>炎ムを理解する<br>しのある場                                       | 望いについる<br>三理解する。<br>三理解する。<br>字句解析。<br>字可解析。<br>で理解する。<br>量して処理を<br>する。<br>いっこの。<br>ないっこの。   |
| □ <i>アク</i> ラ  | 更<br>and and and and and and and and and and | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週<br>14週<br>15週<br>16週   | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析新器生成系 プログ試プログ、関係が開かる はとのは、関係が関する は、関係が関する では、関係が関係が関 では、関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関係が関   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>ン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>記ex (1)<br>記ex (2)<br>語・コンパイラの構<br>文解析 (文脈自由文)<br>で対則を含まない場<br>文法変換)<br>解析アルゴリズム)<br>繰り返しのある場合  | と。  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ 遠隔授業対応  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □   | ごとの到達目標コグラミングラミングラミングラミングラミングラミンでである。 でいて基本的の基本的な グランでの基本的な グラック はこう アイン できる アイ・ は 大阪 大阪 できる アイ・   | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 なったた理解する。 はったた理解する。 「を理解する。」を理解する。 「を理解する」とができる。 「なったがでする。」を現れていた。 「なったがでする。」を現れていたができる。 「なったがでする。」を理解する。 「なったができる。」とができる。 「なったができる。」といいません。 「なったができる。」といいません。 「なったができる。」といいません。 「なったができる。」といいません。 「なったができる。」といいません。 「なったが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これ   | 理系統の遠 て理解するれについて カについて カについて ききの構成・ きるの構のい。 違いを把握 換を理解する しのある場  | ないについる<br>3。<br>理解する。<br>字句解析。<br>で理解する。<br>でではない。<br>でではない。<br>でではない。<br>でではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではな、<br>ではな。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>ではな、<br>ではな、<br>ではない。<br>ではない。<br>ではない。<br>で   |
| □ アクラ 受業計Ⅰ   | 更<br>and and and and and and and and and and | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週<br>14週<br>15週<br>16週<br>15週<br>16週   | □ ICT 利用  授業内容  プログラミング言  コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析(オート 字句解析(器生成系 字句解析器生成系 プロ試プの試プの試別では、解析の表質では、解析の表質では、解析の表質では、解析のでは、解析のでは、解析のでは、解析のでは、ないでは、ないでは、では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>ン、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>記ex (1)<br>記ex (2)<br>語・コンパイラの構<br>文解析 (文脈自由文派<br>文解析 (文脈自由文派<br>文解析 (文脈自由文派<br>文と表変換)<br>解析アルゴリズム)<br>繰り返しのある場合<br>学習内容の到達目標<br>形式言語の概念に   | 図 遠隔授業対応    週   プロ   現  | ごとの到達目標目がある。 できない 理事的 使い できない できない できない できない できない できない できる   | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 おったた理解する。 はったた理解する。 「とでででは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、  | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>ある構のい。<br>違いを理解する<br>炎 ムを理解する<br>しのある場                                      | 望いについる<br>3。<br>理解する。<br>字句解析<br>で理解する。<br>・字句解析る<br>せる。<br>はなするの処理を<br>がするの処理を<br>がするの処理を<br>がするの処理を  |
| □ <i>アク</i> ラ マクラ マクラ マクラ マクラ マクラ マクラ マクラ マクラ マクラ マク | 画<br>3rdQ<br>4thQ                            | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週<br>14週<br>15週<br>16週<br>15週<br>6週  | 受業内容 プログラミング言 コンパイラの全体字句解析(オート字句解析(オート字句解析器生成系字句解析器生成系字句解析器生成系字句解析器と成別では、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で  | 語の歴史と処理系<br>構成<br>(シ、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>(elex (1)<br>(elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>(文解析 (文脈自由文法)<br>(文解析 (文脈自由文法)<br>(文理規則を含まない場<br>(文法変換)<br>解析アルゴリズム)<br>(繰り返しのある場合<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対して)<br>(対し)<br>(対し)<br>(対し)<br>(対し)<br>(対し)<br>(対し)<br>(対し)<br>(対し | 図 遠隔授業対応  図 遠隔授業対応  週 プ理領 構成 字 オーオー オー lex  lex  lex  | ごとの到達目標<br>可がる。<br>可能がのようででは、<br>可能ができますが、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では  | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 な流れについ流れった処理の流流  を理解する。  を理解する。  を理解することができる。  ではいていていたのでは、  を理解するがですがです。  ではいていていたがですが、  ではいていていたがですが、  ではいていていたが、  ではいていたが、  ではいていたが、  ではいていたが、  ではいていたが、  ではいていたが、  ではいたが、  では | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>ある構のい。<br>違いを理解する<br>炎 ムを理解する<br>しのある場                                      | はいについる<br>3。<br>理解する。<br>字句解析<br>で理解する。<br>マウの解する。<br>をする。<br>はる。<br>なするの処理を<br>後8<br>後8   |
| <ul><li>□ アクラ</li><li>受業計</li><li>■ デル</li></ul>     | 画<br>3rdQ<br>4thQ                            | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週<br>14週<br>15週<br>16週<br>15週<br>6週  | □ ICT 利用  授業内容 プログラミング コンパイラの全体 字句解析(オート 字句解析が、出生成 字句解析が、記憶では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で   | 語の歴史と処理系<br>構成<br>(シ、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>(elex (1)<br>(elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>(文解析 (文脈自由文法<br>(文解析 (文脈自由文法<br>(文解析 (文脈自由文法<br>(文)<br>(文別)<br>(文別)<br>(文別)<br>(文別)<br>(文別)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本  | 図 遠隔授業対応  図 遠隔授業対応  週 プ理領 構成 字句 オーオー  | ごとの到達目標<br>可がる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>でき  | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 すなった処理の流流 対った処理解する。 」を理解する。 」を理解する。 」を理解することがで にのいては にのいて | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>ある構のい。<br>違いを理解する<br>炎 ムを理解する<br>しのある場                                      | 望いについる<br>3。<br>理解する。<br>字句解析<br>で理解する。<br>・字句解析る<br>せる。<br>はなするの処理を<br>がするの処理を<br>がするの処理を<br>がするの処理を  |
| アクラ       受業計       デカ                               | 画<br>3rdQ<br>4thQ                            | 多上の区分<br>こング<br>週<br>1週<br>2週<br>3週<br>4週<br>5週<br>6週<br>7週<br>8週<br>9週<br>10週<br>11週<br>12週<br>13週<br>14週<br>15週<br>16週<br>7月<br>9月<br>10週<br>11月<br>12月<br>13月<br>14月<br>15月<br>15月<br>15月<br>15月<br>15月<br>15月<br>15月<br>15 | □ ICT 利用    授業内容   プログラミング   フログラの全体   アウイラの全体   アウ解析 (オート字句解析 (オート字句解析 (オート字句解析 (オート字句解析 (オート系字 (アログ) (rログ) (rログ) (rログ) (rログ) (rログ) (rログ) (rログ) (rログ) (rログ) (r | 語の歴史と処理系<br>構成<br>(シ、正規表現)<br>マトン)<br>マトン)<br>(elex (1)<br>(elex (2)<br>語・コンパイラの構<br>(文解析 (文脈自由文法<br>(文解析 (文脈自由文法<br>(文解析 (文脈自由文法<br>(文)<br>(文別)<br>(文別)<br>(文別)<br>(文別)<br>(文別)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本)<br>(本  | 図 遠隔授業対応  図 遠隔授業対応  週 プ理領 構成 字 オーオー オー lex  lex  lex  | ごとの到達目標<br>可がる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>できる。<br>でき  | □ 実務経験 語の歴史や処理する。 すなった処理の流流 対った処理解する。 」を理解する。 」を理解する。 」を理解することがで にのいては にのいて | 理系統の遠<br>て理解する<br>れについて<br>れについて<br>ある構のい。<br>違いを理解する<br>炎 ムを理解する<br>しのある場                                      | 望いについる。<br>理解する。<br>理解する。<br>字句解析<br>で理解する。<br>ででである。<br>をできる。<br>はない。<br>では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ   |

| 評価割合    |    |    |      |    |         |     |     |  |  |  |  |
|---------|----|----|------|----|---------|-----|-----|--|--|--|--|
|         | 試験 | 発表 | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計  |  |  |  |  |
| 総合評価割合  | 80 | 0  | 0    | 0  | 0       | 20  | 100 |  |  |  |  |
| 基礎的能力   | 0  | 0  | 0    | 0  | 0       | 0   | 0   |  |  |  |  |
| 専門的能力   | 80 | 0  | 0    | 0  | 0       | 20  | 100 |  |  |  |  |
| 分野横断的能力 | 0  | 0  | 0    | 0  | 0       | 0   | 0   |  |  |  |  |